



## 2019年度 介護老人保健施設経営セミナー日程表

地域における在宅支援・在宅復帰の拠点として今老健に求められること

【共催】独立行政法人福祉医療機構  
公益社団法人全国老人保健施設協会  
【開催日】2019年11月8日(金)  
【会場】全社協・灘尾ホール  
(東京都千代田区霞が関 3-3-2)

平成29年度の介護保険法改正で介護老人保健施設の役割が「在宅復帰・在宅療養支援」であることがより明確化されたことを踏まえ、これらの機能に対する評価を更に推進する観点から平成30年度介護報酬改定が行われ、高齢者の在宅支援・在宅復帰のための地域拠点としての役割が求められることとなりました。

しかしながら、早期の在宅復帰に向け、利用者の状況に応じて必要な医療、看護、介護、リハビリテーション等を実施していくためには多職種の連携が必要不可欠であり、そこには人材確保・定着といった課題が見えてきています。

一方、今年度中に地域に貢献する活動が実施できない場合、在宅復帰・在宅療養支援機能加算が算定できなくなるなど、地域に根差した施設となるためのサービス提供体制について改めて考える時期に来ているのではないのでしょうか。

今回のセミナーでは、地域貢献活動を中心とした在宅復帰・在宅療養支援の実践事例や人材確保の考え方を通じて、介護老人保健施設に今、求められていることについて理解を深め、健全で安定した経営基盤を構築するヒントを皆さまとともに考えます。

9:00～	受付
10:00～10:20 (20分)	オリエンテーション 開会のあいさつ 独立行政法人福祉医療機構 公益社団法人全国老人保健施設協会
10:20～11:40 (80分)	「地域における介護老人保健施設の使命とは ～在宅復帰・在宅支援の拠点として、現在、そして未来～」 <講師> 公益社団法人全国老人保健施設協会 会長 東 憲太郎 氏
11:40～11:50 (10分)	「医療貸付事業の概要について」 <説明者> 独立行政法人福祉医療機構 福祉医療貸付部
11:50～12:50	休憩(60分)～融資相談会～
12:50～14:20 (90分)	「人事制度を人材確保の武器にする方法 ～給与規程・人事考課の有効活用～」 <説明者> 独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター コンサルティンググループ 荒井 康弥
14:20～14:30	休憩(10分)
14:30～16:00 (90分)	「在宅復帰・在宅療養支援に向けた取り組み ～地域に根ざした施設を目指して～」 <講師> 山梨県老人保健施設協議会 会長 医療法人社団青虎会 介護老人保健施設はまなす 施設長 福田 六花 氏